

はじめに

愛荘町は、愛知川と宇曾川の伏流水に恵まれた水と緑の自然豊かなまちであるとともに、国宝である金剛輪寺本堂をはじめとする歴史遺産や長い間に築きあげられた生活文化など、伝統が息づくまちとして発展を遂げてきました。

これまでの経済成長は、私たちに物質的な豊かさをもたらす一方で、大量生産、大量消費、大量廃棄を基調とする私たちの生活様式は、ごみ問題や公害問題、生物多様性の減少、温室効果ガスの増加など環境へ負荷を掛け地球規模の問題にまで影響をもたらしています。

このようなことから私たちは、自然と共生する知恵や自然観も踏まえ、経済成長を続けながら環境への負荷を最小限にとどめる必要があります。健全な物質・生命の「循環」を実現し、自然と人間の「共生」を図り、これらの取組を含め「低炭素」を実現する循環共生型の社会を目指すことが、持続可能な社会の姿として求められています。

健康で快適に生活するために、良好で恵み豊かな環境づくりに努め、美しいまちを次の世代に引き継いでいくことは現代に生きる私たちに課せられた使命です。

本町では、2019年3月に2019年度から2027年度の9年間を計画期間とする「第2次愛荘町環境基本計画」を策定しました。本計画では、環境像を「人と自然 やすらぎをおぼえる 愛荘町」と定め、町内で活動するすべての人が協働し、この恵まれた環境を守り育てるとともに、町内で生活するすべての人々が、自然と親しみ、やすらぎを覚え、「快適でうるおいのあるまち」と感じることでできるまちづくりに取り組んでいきます。

最後に、この計画の策定にあたり、貴重なご意見、ご提案をいただいた住民の皆さんをはじめ、環境審議会委員ならびに関係者の皆さんに心からお礼申し上げますとともに、今後とも計画の実現に向けて、一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



2019年3月

愛荘町長 有村 国知